

主要案件一覧表

地域	浄化対象物質	浄化面積 (m ²)	最大深度 (m)	浄化土量 (m ³)	浄化工法	法対応	浄化完了までの工期
九州	鉛、シアン、ふっ素	4,600	4	5,900	掘削除去	○	4ヶ月
関東	ふっ素、砒素、鉛、水銀	1,800	3	5,000	掘削除去	○	5ヶ月
関東	テトラクロロエチレンと分解生成物	900	13	7,500	表層部 ホットソイル工法 深層部 揚水と酸化剤注入の併用工法 敷地境界部 バイオスティミュレーション工法	行政指導に基づいた自主対策	12ヶ月
中部	テトラクロロエチレンと分解生成物	2,000	11	16,400	汚染源 酸化剤の攪拌混合工法 拡散域 酸化剤注入工法	行政指導に基づいた自主対策	6ヵ月
北陸	テトラクロロエチレンと分解生成物	1,200	10	7,600	汚染源 酸化剤の攪拌混合工法 拡散域 酸化剤注入工法	○	4ヶ月
関西	テトラクロロエチレンと分解生成物	600	10	4,500	酸化剤注入工法	自主対応	3ヵ月
関東	油分(ベンゼン)	2,500	8	15,000	化学酸化工法	自主対応	12ヵ月
北海道	油分	3,900	4.5	15,500	化学酸化およびバイオスティミュレーションのハイブリッド工法	自主対応	12ヵ月
東北	鉛・六価クロム	256	2	312	掘削除去	行政指導に基づいた自主対策	2年
	トリクロロエチレンと分解生成物 油分(TPH)	約5,000	20	約70,000	汚染源 酸化剤の攪拌混合工法 拡散域 化学酸化およびバイオスティミュレーションのハイブリッド工法		
関東	トリクロロエチレンと分解生成物 フッ素	1,100	23	6,500	酸化剤注入工法 掘削除去 揚水処理	○	12ヵ月
関東	油分	5,500	10m	31,050	酸化剤の攪拌混合工法	行政指導に基づいた自主対策	6ヵ月
関東	ベンゼン、油分	4,600	7	21,500	酸化剤注入工法、土壌洗浄 バイオフィーミング 揚水処理	行政指導に基づいた自主対策	2年
北海道	鉛、砒素、ほう素、水銀	4,000	9.7	13,500	掘削除去、全周回転機械掘削	○	8ヶ月
関東	鉛、砒素、ふっ素	3,700	7.3	21,288	掘削除去	○	6ヶ月
関東	鉛、ふっ素、ほう素、トリクロロエチレン	3,599	6	5,875	掘削除去	○	11ヶ月
関東	鉛、ダイオキシン類	1,085	5	2,804	掘削除去	○	4ヵ月
関東	六価クロム、セレン、鉛	1,275	6.5	1,877	掘削除去	自主対応	5ヶ月
関西	鉛、砒素、ふっ素、シアン	357	5.5	826	掘削除去	自主対応	3ヵ月
関東	セレン、鉛	6,500	8	36,315	掘削除去	○	12ヵ月
関東	鉛、六価クロム	962	2	1,877	掘削除去	自主対応	2ヶ月
関東	油分、ベンゼン	1,023	3.5	530	解体及び掘削除去	自主対応	3ヶ月
関西	油分、ベンゼン	250	5.5	825	解体及び掘削除去	自主対応	3ヶ月
関東	水銀、鉛、ふっ素、砒素、油分	6,590	3.5	11,247	掘削除去	○	12ヵ月
関東	ふっ素、鉛、ほう素	1,668	13	5,250	掘削除去、全周回転機械掘削	自主対応	7ヶ月
関東	鉛、六価クロム、シアン、ほう素	5,600	4	4,503	掘削除去、地下水揚水	○	4ヶ月
東北	トリクロロエチレン、1,2-ジクロロエチレン	2,500	8	7,200	掘削除去、原位置浄化、地下水揚水、遮水壁築造	○	20ヵ月
関東	鉛	1,187	2	1,210	掘削除去	○	3ヵ月
関西	鉛、水銀	1,100	2.3	1,330	掘削除去	○	3ヵ月
関東	鉛、砒素	1,283	3	824	掘削除去	○	4ヶ月
中部	鉛、砒素、ふっ素	2,556	4	6,885	掘削除去	○	7ヶ月
関東	水銀、鉛、ふっ素、砒素、ほう素	1,190	4.2	1,605	掘削除去	○	5ヶ月
関東	鉛、ふっ素	722	2	738	掘削除去	○	2ヶ月
関西	油、ベンゼン	1,100	8	8,800	バイオレメディエーション	自主対応	13ヵ月
関東	鉛、ふっ素、砒素	10,800	2	2,100	掘削除去	行政指導に基づいた自主対策	6ヵ月
関東	鉛、ふっ素、六価クロム	1,326	3.25	1,765	掘削除去	○	2ヶ月
関西	鉛、砒素、ふっ素	1,859	7	2,987	掘削除去	○	5ヶ月